

第2表（小）

学校名 清瀬市立清瀬第三小学校

2 指導の重点

(1) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- ・「主体的・対話的で深い学び」に向け、全教科で他者と協働的に学ぶ授業や体験的な授業を展開し、児童の協働問題解決能力や情報活用能力の育成を図る。「三小スタンダード」を活用し、学習規律や環境を整え、授業の構造化でどの児童にも分かる授業を展開する。
- ・算数では、習熟度別少人数指導の授業形態を取り入れ、学び残しやつまずきを初期の段階で解消し、数学的問題解決型の学習を工夫し、思考力の向上を図る。
- ・朝読書や読書旬間、読書感想文応募に取り組みさせて読書活動に親しませるとともに、ブックトークや書評等、学年に応じた取組を工夫して多様な種類の本へ関心を広げる。
- ・俳句出前講座の実施、年間を通じた俳句作り、大会への応募、作品掲示等により、俳句に親しませ、言語能力、語彙力、表現力の向上を図る。
- ・東京都の体力調査の結果を受けて、外遊びを推進するとともに、持久力等の向上に向けた体育科の授業改善や体育朝会・体力向上旬間の設定を工夫する。
- ・外国語では、読むこと・書くこと等言語活動を重視し他者と共に考える力を育む。
- ・一人一台端末を活用し、伝え合い、学び合う力を育てるとともに、プログラミング学習によるプログラミング的思考を育成して情報社会への理解を高め、情報活用能力を育む。
- ・生活科及び総合的な学習に関連して、横断的・総合的な学習活動を展開し、課題を発見し探求する力を育成する。

イ 道徳科

- ・指導計画に基づき、教科書や郷土資料等を活用し、自己を見つめ、多面的、多角的に考え、人間としての生き方について考えを深め、他者と共生しようとする意欲を高める。
- ・道徳授業地区公開講座は保護者や地域住民とともに「命と人権」について学ぶ場として工夫し、道徳教育への啓発と協力を促進する。

ウ 外国語活動

- ・担任とALTの役割を明確にして児童の実態に基づいた学習を展開し、言語や文化の体験的な理解や基本的な表現に慣れ親しませ、コミュニケーション能力の素地を養う。

エ 総合的な学習の時間

- ・地域の関連機関との連携を生かした「図書館を使った調べる学習コンクール」に出品する学習や教科横断的・総合的で探究的な問題解決学習を行い、他者と協働して主体的に問題を解決する力を育て、物事の見方や自己の生き方を考えることができるようにする。

オ 特別活動

- ・委員会が推進する挨拶運動や行事等への取組を通して、よりよい人間関係、楽しい学校生活を築こうとする実践的な態度を育てる。
- ・「ぴかぴか朝会」「ふれあい集会」等縦割り班による交流活動を計画的に行い、異年齢集団のよさを体験的に学び、リーダー性とコミュニケーション能力を育成する。
- ・「学校2020レガシー」としてボッチャ体験に取り組み、障害者理解とスポーツ志向を進める。